

## 平成24年3月22日開催 県政タウンミーティング 寄せられたご意見等への対応状況について

### 1 開催概要

- ・開催日 平成24年3月22日（木）午後5時30分から7時30分まで
- ・テーマ 『地域を元気にするスポーツの振興』
- ・会場 大町商工会館 大会議室
- ・参加者 約35人

### 2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

#### (1) 地域の住民、県民の意識及びスポーツ・パウチャー券について

##### (ご意見の概要)

地元の人間がスポーツをしないで観光客だけスポーツをするというのはおかしい話である。県民が、県内で使用できるスポーツ・パウチャー券を配布して振興につなげる事業はできないものか。

地元の住民がスポーツを楽しんでない、子どもたちがスポーツを好きでないという話がある。子供のうちから、楽しんでスポーツができる環境や教育現場の工夫が必要だと思う。

##### (知事の発言)

大北地域に限らず、こういう楽しみがあるのに何で他の地域の人たちはできないのだろう、かわいそうだなっていうふうに我々自身が思えなければ、本気でいい所ですよ、本当に体験してもらいたいというのは多分伝わらないのではないかなと思うので、そういう体験をやっぱり子どものうちからしっかりしてもらえるようにしなきゃいけないなと思いつつ皆さんの話を聞いていました。

教育については教育委員会と定期的に話し合いをしていくことにしていますので、今日、出たような話も含めて子どもたちが本当に楽しめる、学校を出た後もスポーツをしっかりやっていこうと思ってもらえるような教育にしていかなないと、ただ単に学科の一つとしてやっていくという感じではいけないのではないかなというのを強く感じました。

##### (ご意見に対する対応状況)

2011年1月の日本スキー発祥100周年を契機に、長野県索道事業者協議会では、小さなお子様から早い段階からスノースポーツに親しんでいただき、長野県の子どもたちからスノースポーツの元気を発信いただきたいという思いから、県内全ての小学生にリフト1日券引換券を配付する取組を行っています。

また、県、市町村、スキー関係団体等で構成される「スノーリゾート信州プロモーション委員会」では、2012シーズンに向けた取組として、子どもたちがスキー場に来て楽しさを実感してもらおう取組を検討しております。【担当課：観光部観光振興課】

本県の自然環境を活かした、スキー、スケート、登山、キャンプ等を学校行事として実施しています。

さらに、幼児期から小学校低学年までに運動・スポーツの楽しさを体感してもらい、運動好きの子どもたちを育てていくことが重要であることから、高い効果が期待できる幼児期からの「運動遊び」の普及を軸に取組を行っています。

【担当課：教育委員会事務局スポーツ課】

## (2) スポーツと他分野との関わりについて

### (ご意見の概要)

少子高齢化の時代であるから、3世代で遊びに来て健康になれるプログラム、地元のスポーツ関係者による指導など地元で消費される仕組みづくりが必要。例えば、高齢者は子ども・孫の観戦や観光地を回っていただく、また、家族全員でノルディックウォーク、セラピー、温泉、食事を楽しんで健康になっていただくため、地元のスポーツ関係者が指導するのはどうか。

長寿県長野を大きなキーワードにして、長野県を積極的にアピールすることが有効だと思う。

### (知事の発言)

スポーツは教育、健康、環境等いろんな分野との結びつきが強い。スポーツを元気にするだけでなく、地域が元気になることを実現したい。「単にスポーツをやっただけ」というのではなく、そこに健康面の知識を来た人に提供するとか、具体化するためにこれから頑張っていきたい。

健康長寿っていうのは本当に重要なキーワードだと思っています。長野県っていうのは人の力で地域の特性を作れる極めて希少な地域だと私は思っております。

### (ご意見に対する対応状況)

近年、旅行形態が「団体旅行」「物見遊山型」から「個人旅行」「参加体験型」へシフトする中、地域による着地型観光づくりの重要性が高まっており、県内各地でも、白馬マイスターツアー、飯山旅々、信越トレイルの整備などの取組が行われています。県では、観光を軸とした地域産業を創出していくため、平成24年6月に「信州・観光地域づくりマネジメント塾」を開講し、観光地域づくりの中核的な人材育成を支援してまいります。こうした取組を通じて造成された着地型観光商品等を積極的にPRし、地元で消費される仕組みを推進してまいります。【担当課：観光部観光振興課】

日本一の長寿県であることをキーワードに、スポーツを通じた地域振興を図っていくことは大切な視点と考えます。

その際、サービス提供の担い手となり得る地域のスポーツ指導者に対し、資質向上のための研修機会の確保等に努めていく必要があると考えます。

【担当課：教育委員会事務局スポーツ課】

## (3) 情報発信PRについて

### (ご意見の概要)

発信力の強化が必要である。現状はPRの仕方がバラバラ。統一して一緒に発信していかなければならない。

海外からスキー観光等で訪れる人は冬季オリンピック開催地であったことを理由にあげている。白馬は、オリンピック開催地であることをもっとPRすることが大切である。

何かに特化しないといけない。例えば、金メダルを目指した養成学校や山のガイドの養成など、世界でも突出したものを地域も協力して作っていかないと良さが伝わらない。

### (知事の発言)

長野県はいいものがありすぎるせいかもしれないのですが、やっぱり、これに絞ってこれを打ち出そうというのが今までほとんどできていないのではないかなど。今度4月から信州ブランド推進室というのを観光部に作って、長野県信州全体をどうやって発信するのかというのをしっかり考えていきたい。

「長野県はこういう県」だということがしっかり共有されていないとなかなか発信するのが難しい、発信できないなと思っているので、そういうコンセプトをしっかりとっていききたい。

**(ご意見に対する対応状況)**

4月に観光部に設置した信州ブランド推進室において、国内外へ独自性のある長野県の価値や魅力を統一感をもって発信するとともに、ブランド戦略の策定やその普及・浸透過程において、多くの県民や関係団体の参画を得て、ブランド力を継続的に磨きあげるブランド戦略の構築の検討をすすめてまいります。

**【担当課：観光部信州ブランド推進室】**

オリンピック開催県である本県の特徴を活かし、地域との連携を図りながら、様々な事業を展開・発信していくことは重要と考えます。

現在、県では冬季オリンピックでメダリストを輩出しようと、SWAN (Superb Winter Athlete Nagano) プロジェクトを実施するとともに、広報にも努めています。

**【担当課：教育委員会事務局スポーツ課】**

**(4) スポーツイベントの企画について**

**(ご意見の概要)**

宿泊を念頭に置いてスポーツのイベントを企画しなければ地域振興として意味がない。

**(ご意見に対する対応状況)**

スポーツイベントを地域で企画する際にも、観光要素を入れて宿泊に結び付けるなど工夫していただければと思います。

なお、今年度から、長野県東京観光情報センターにスポーツ合宿誘致員を配置して、スポーツ合宿等の誘致を推進することとしております。**【担当課：観光部観光振興課】**

**3 問合せ先**

総務部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp